

農業王国うつのみやの推進

【農業振興課，産業政策課】

◆ 地域農業担い手育成総合支援の取組

1 事業の目的

これまで県，市，ＪＡなど様々な主体により取り組まれてきた「担い手」に対する支援について，これらの関係機関により構成される「担い手育成総合支援協議会」の組織活動を強化し，今後，担い手の経営状況に応じたよりきめ細やかな支援や新たな地域農業の担い手の確保・育成を図る。

2 事業概要（新規事業）

○地域農業担い手支援ネットワークの構築

○新規就農者貸付金制度の構築

○農村女性の起業支援の仕組みづくり

＜平成２１年度の主な取組＞

- ・「担い手アクションサポート会議」（普及指導員，認定農業者等で構成）による検討
- ・アンケート，訪問調査などによるニーズ把握
- ・先進事例の調査・研究
- ・制度運用マニュアル，要領等の整備
- ・広報・ＰＲ など

3 事業スケジュール

平成２１年度	４月～	検討体制の構築 ⇒「担い手アクションサポート会議」ワーキンググループ の設置・運営
	６月～	アンケート，訪問調査の実施，結果分析 制度や仕組みの骨格づくり
	７月	「担い手アクションサポート会議」の開催
	９月～	制度や仕組みの詳細設計
	２月～	２２年度以降の取組内容の周知

◆ 地産地消の推進

1 事業の目的

地域食料自給率の向上を図るとともに、安全で安心な農産物を消費者に供給できる仕組みを構築し、本市の農業を将来にわたって維持、発展させること及び、市民への健全な食生活の普及を目的として、地産地消を推進する。

2 事業概要

(1) 宇都宮市地産地消推進計画（H20.3策定）に基づく推進施策の実施

⇒地域食料自給率の向上（H17：31%⇒H24：37% カリバーズ）を目指す。

- ・啓発活動の促進（地産地消の日キャンペーン、地産地消朝市の開催等）
- ・地場農産物利用促進（地産地消推進店制度の整備、地場産流通しくみの構築等）
- ・ニーズに対応した農産物の生産振興（生産力強化の支援、直売所の品目拡充等）
- ・安全・安心な農産物等の供給促進

（生産履歴の記帳・情報提供、トレーサビリティシステムの導入促進等）

- ・食育の推進、食文化の継承（学校給食での利用拡大、地場農産物の料理教室等）
- ・都市と農村の交流促進

(2) 大型直売所等の整備に関する検討

- ・市とJA等による検討組織の設置
- ・大型直売所等整備の検討に係る調査
⇒アンケート，訪問調査などによるニーズ把握
先進事例の調査・研究
備えるべき機能や立地条件など，望ましい施設機能の条件整理

3 事業スケジュール

- | | |
|--------|--------------------------------|
| 平成19年度 | ・宇都宮市地産地消推進計画の策定 |
| 20年度～ | ・地産地消朝市の実施（第3日曜日） |
| | ・学校給食出荷支援事業の実施 |
| | ・地産地消弁当コンクール，地場農産物調理講習会の実施 |
| | ・啓発パンフレットの作成，直売所等PR事業の実施 |
| 21年度 | ・宇都宮「食の街道」推進協議会設立 |
| | ・地産地消推進店の認証基準策定及び推進店の募集 |
| | ・大型直売所等整備の検討に係る検討組織の設置，各種調査の実施 |

◆ 農産物ブランド化の推進

1 事業の目的

本市で生産された農林産物の消費拡大を図り、農業経営の安定と消費者の信頼を確保するため、優良な農産物の高品質化・販路拡大を図るブランド化事業を推進する。

2 事業概要

- ・ブランド農産物の販路拡大の推進（戦略的PR事業、キャンペーン等の販促事業等）
- ・農産物の高品質化の促進（宇都宮牛復興プロジェクト、適正施肥推進事業）

3 事業スケジュール

- | | |
|--------|---|
| 平成20年度 | ・地元及び首都圏での戦略的PR事業の実施
・宇都宮牛復興プロジェクトの支援
・農産物等輸出促進事業の促進 |
| 21年度 | ・地元及び首都圏での戦略的PR事業の実施
・実需者との商談会の実施
・宇都宮牛復興プロジェクトの支援
・品質向上を図るための取組への支援 |

◆ うつのみやアグリネットワークの推進

1 事業の目的

地域の農林産業と食品産業をはじめとした様々な産業間の連携を促進し、地域の農産物、人材、技術その他の資源を有効に結びつけ、新たな商品、販路、地域ブランド等の創出を通し、宇都宮産の農産物の需要拡大と振興を図る。

2 事業概要

（1）設 立 平成19年1月31日

（2）会 員 数 89団体（平成21年3月末日現在）

（3）推進体制

- ①会 員 構 成：農業・商工業（主に食品関連）関係の企業、団体及び個人
- ②運営委員会：行政機関、農商工関連団体、流通・販売関係者など
- ③事 務 局：宇都宮市・宇都宮農業協同組合・宇都宮商工会議所

（4）事業内容

- ①ネットワークづくりに向けたシステム構築
 - ・会員情報の共有化を進めるWebシステムの運用
 - ・会員交流会の開催
- ②プロジェクトの創出と事業化への促進
 - ・「農」資源を核としたプロジェクトの創出及び事業化への支援
 - ・意見交換会等の開催
 - ・販路確保に向けた「産品相談・商談会」への参加
 - ・消費者ニーズの調査

3 事業スケジュール

- 平成18年度 ・ うつのみやアグリネットワークの創設
- 19年度～ ・ ネットワークを動かすシステム構築
情報共有Webの構築・稼動（会員参加型のサイトの構築）
会員交流会の開催
プロジェクトの創出及び事業化を支援
- 21年度 ・ 会員交流会と研究会の開催
・ 新たな商品及びサービス創出にむけたプロジェクト支援
・ 販路拡大に向けた相談イベント等のへの参加促進

【参考】“うつのみやアグリファンクラブ”の概要

目的

消費者への美味しい農産物や農業体験などの情報提供を通して、「農業」との交流を促進し、本市の「食」と「農業」に対する理解を深め、本市農産物の需要拡大を図る。

事業内容

- ①会員数 ： 市内外の消費者 2, 261人（平成21年3月末日現在）
- ②主な事業：ファンクラブ通信の発行（旬の農産物、イベント情報など）
直売所等の宣伝にあわせたスタンプラリーの実施

◆ 水田等有効活用 of 取組

1 事業の目的

国際的な穀物需給の逼迫，原油・肥料価格の高騰，輸入食品の安全性に対する不安の増大など，食料供給に対する不安定要素が急速に増大する中，これらの課題を乗り越えて，農業の体質強化を図り，食料自給力・自給率の向上を図る必要がある。

このため，産地確立対策や米粉利用の促進などを通して，水田等を最大限に有効活用されるよう支援策を講じる。

2 事業概要

- （1）耕作放棄地の解消
 - ・ 耕作放棄地対策協議会の設置
 - ・ 耕作放棄地解消の取組実施
- （2）生産調整による不作付地の解消
 - ・ 産地確立対策による活用促進
（水田フル活用促進，米粉用米促進，なたね生産促進等）
- （3）菜の花プロジェクトの推進
 - ・ 推進協議会運営
 - ・ 菜種油の地産地消の推進
 - ・ 廃食用油の利活用
- （4）米粉利用の促進
 - ・ 米粉製粉機の設置
 - ・ 米粉レシピ集の配布，米粉料理の講習会，試食会
 - ・ アグリネットワークと連携した，米粉活用方法研究

3 事業スケジュール

平成21年度	4月	米粉レシピ集の配布
	5月	耕作放棄地対策協議会の設置 産地確立対策の助成メニューの新設 米粉製粉機の設置
	6月～	米粉料理の講習会，試食会 産地確立対策の検討（合併後）
	7月～	菜種の作付，搾油 菜種油のBDF化